

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	芙蓉パーライト株式会社							
代表者名	氏名	河西正彦	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野県諏訪郡下諏訪町樋橋3041-1							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	21. 窯業・土石製品製造業						
主たる事業の概要	黒曜石パーライトの製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	1,680	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	4	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

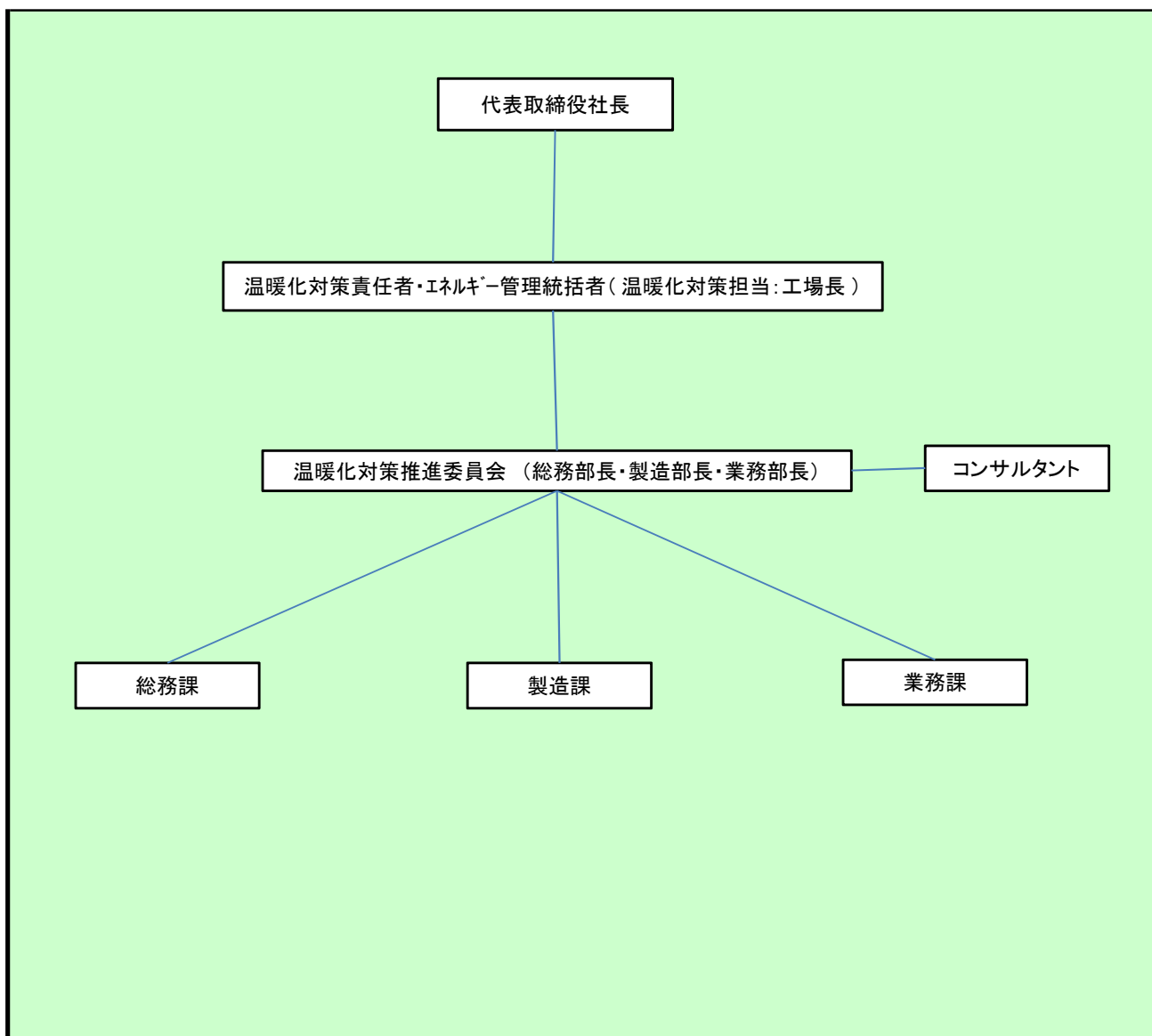
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	受付：工場操業日（月曜日～水曜日）の10時～16時（総務部）
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

省エネルギーを、温暖化防止のための重要施策として推進します。  
また、環境対策に配慮した事業活動を展開します。  
エネルギー消費原単位の改善に努める。

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	4,355	t-CO <sub>2</sub>	生産量	53.496	単位	千m <sup>3</sup>	
25年度	調整後排出量	4,127	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	81.41	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>3</sup>	
目標年度	目標排出量	4,224	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	78.97	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>3</sup>	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	省エネ法と同様、原単位で1%削減する							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,125	t-CO <sub>2</sub>	生産量	49.967	単位	千m <sup>3</sup>	
	調整後排出量	4,118	t-CO <sub>2</sub>	原単位	82.55	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>3</sup>	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
26年度	削減率	5.28	%	削減率	(1.41)	%		
排出量等の増減理由	<p>建材関係は前年並みに推移したが、緑化関係の需要減により緑化製品生産量(前年度比11%減)は、重油の使用量が減じたが原単位を下げる結果となった。                      重油使用量【緑化(大粒20mm):約120/m<sup>3</sup>、建材(細粒3mm以下):250/m<sup>3</sup>】                      電力量が下がっていないのは、冬季▲16℃(標高1,000m)まで下がる状況下、エアコンの凍結防止に灯光器を多く使用しているが検討する必要あり。                      照明のLED化の効果が、残念ながら出ていない。</p>							
第二年度	排出量	4,009	t-CO <sub>2</sub>	生産量	45.24	単位	千m <sup>3</sup>	
	調整後排出量	4,004	t-CO <sub>2</sub>	原単位	88.62	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>3</sup>	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
27年度	削減率	7.94	%	削減率	(8.86)	%		
排出量等の増減理由	<p>前年に続きエネルギー量が減じているが、緑化・建材関係の生産量の減によるもので原単位を下げる結果となった。                      電力量削減対策として、凍結防止用の灯光器を凍結防止帯に変更、コマ目に照明等のスイッチを切るなど重ねて指示。</p>							
第三年度	排出量	4,173	t-CO <sub>2</sub>	生産量	40.57	単位	千m <sup>3</sup>	
	調整後排出量	4,167	t-CO <sub>2</sub>	原単位	102.859	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>3</sup>	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	削減率	4.17	%	削減率	(26.35)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>原料(黒曜石)の発泡倍率の低下による原単位の悪化が最大の要因。                      『H.28.7・8 + H.29.1~4 : 15%の減(前年対比)』                      緑化・建材関係の生産量の減によるもので原単位を下げる結果となった。</p>							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	9	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
28年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	8	t-CO <sub>2</sub>	削減率	11.11	%
26年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	9	t-CO <sub>2</sub>	削減率	0	%
27年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	6	t-CO <sub>2</sub>	削減率	33.33	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	倉庫・場内照明の変更 灯光器・蛍光灯⇒LED	H. 26	2	H. 26	2
2	エネ起	倉庫・場内照明の変更 灯光器・蛍光灯⇒LED	H. 27		H. 27	
3	エネ起	倉庫・場内照明の変更 蛍光灯⇒LED	H. 28		H. 28	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	6		7	5	6
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,355	1	4,125	1	4,009	1	4,173
1,500k1未満								
合計	1	4,355	1	4,125	1	4,009	1	4,173

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計	0	0	0	0
自動車総数	4	4	4	4
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	〃

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	立地上困難
公共交通機関の利用促進	〃
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	緑化及び森林の保全 浄化型簡易尿処理システム高山用 (北岳・大天井・槍ヶ岳・御嶽)	
第一年度実績	作業地法面緑化(5月) 浄化型簡易尿処理システム高山用 新潟県アグリパーク緑化工事資材	789 m <sup>3</sup> (西穂・槍ヶ岳・北岳・三つ峠)
第二年度実績	作業地法面緑化(6月～7月) 浄化型簡易尿処理システム高山用 一宮市浄化センター屋上緑化工事資材	1,960 m <sup>3</sup> (槍沢・南岳)
第三年度実績	各務原市運動公園緑化工事資材 新名神高速道路(神戸)緑化工事資材	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	1号ロータリーキルンの更新(H25.5)、乾燥キルンの更新(H25.8)、照明のLED化	
その他		